

# 秋田市介護予防・日常生活圏域 高齢者ニーズ調査結果報告書

平成 29 年 3 月

秋田市



# 目 次

<b>第1章 調査の実施概要</b> .....	<b>3</b>
1 調査の目的.....	3
2 調査の内容.....	3
(1) 介護予防・日常生活圏域高齢者ニーズ調査.....	3
3 電算処理および報告書の記載方法について.....	4
(1) 電算処理.....	4
(2) 報告書の記載方法.....	4
4 調査票の配布と回答状況について.....	4
(1) 有効回答者数と回答率.....	4
(2) 有効回答者の属性.....	5
5 地域課題のまとめ.....	7
(1) 「中央圏域」の課題.....	8
(2) 「東圏域」の課題.....	9
(3) 「西圏域」の課題.....	10
(4) 「南圏域」の課題.....	11
(5) 「北圏域」の課題.....	12
<b>第2章 一般高齢者調査結果</b> .....	<b>15</b>
1 あなたのご家族や生活状況について.....	15
(1) 家族構成及び昼間独居者の状況.....	15
(2) 日常生活における要介護（介助）者の有無.....	16
(3) 現在の経済状況.....	17
(4) 現在の居住環境.....	18
2 からだを動かすことについて.....	19
(1) 運動機能の状況.....	19
(2) 外出の状況.....	21
(3) 介護予防のための取組.....	26
3 食べることについて.....	27
(1) 現在の体重（BMI）状況.....	27
(2) 歯・口腔の状況.....	28
(3) 食事の状況.....	30

4	毎日の生活について .....	31
	（1）I ADL（手段的日常生活動作能力）の状況 .....	31
	（2）社会参加（知的能動性）の状況 .....	34
	（3）社会参加（社会的役割）の状況 .....	36
	（4）こころの健康状態 .....	38
	（5）物忘れの状況 .....	40
5	地域での活動について .....	42
	（1）グループ活動等の状況 .....	42
	（2）地域づくりに対する参加意向 .....	43
	（3）地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの .....	45
6	たすけあいについて .....	46
	（1）困った際に頼る相手または頼られる相手 .....	46
	（2）友人・知人との交流状況 .....	49
7	健康について .....	50
	（1）健康状態 .....	50
	（2）疾病と喫煙や飲酒の関係 .....	50
	（3）病気の治療・療養の状況 .....	52
8	介護保険について .....	54
	（1）介護保険料の状況 .....	54
<b>第3章 要支援認定者調査結果 .....</b>		<b>57</b>
1	あなたのご家族や生活状況について .....	57
	（1）家族構成及び昼間独居者の状況 .....	57
	（2）日常生活における要介護（介助）者の有無 .....	58
	（3）現在の経済状況 .....	59
	（4）現在の居住環境 .....	60
2	からだを動かすことについて .....	61
	（1）運動機能の状況 .....	61
	（2）外出の状況 .....	63
	（3）介護予防のための取組 .....	68
3	食べることについて .....	69
	（1）現在の体重（BMI）状況 .....	69
	（2）歯・口腔の状況 .....	70
	（3）食事の状況 .....	72

4	毎日の生活について .....	73
	（1）I ADL（手段的日常生活動作能力）の状況 .....	73
	（2）社会参加（知的能動性）の状況 .....	76
	（3）社会参加（社会的役割）の状況 .....	78
	（4）こころの健康状態 .....	80
	（5）物忘れの状況 .....	82
5	地域での活動について .....	84
	（1）グループ活動等の状況 .....	84
	（2）地域づくりに対する参加意向 .....	85
	（3）地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの .....	87
6	たすけあいについて .....	88
	（1）困った際に頼る相手または頼られる相手 .....	88
	（2）友人・知人との交流状況 .....	91
7	健康について .....	92
	（1）健康状態 .....	92
	（2）疾病と喫煙や飲酒の関係 .....	92
	（3）病気の治療・療養の状況 .....	94
8	介護保険について .....	96
	（1）介護保険料の状況 .....	96
<b>第4章 日常生活圏域別地域分析 .....</b>		<b>99</b>
1	“4つの高齢者像”からみた地域分析 .....	100
2	介護予防・日常生活支援総合事業に関するニーズ .....	102
	（1）介護予防事業対象者の出現率と地域差 .....	102
	（2）リスクに該当する高齢者数の予測とニーズ算出 .....	104
	（3）生活支援事業対象者数の予測とニーズ算出 .....	108
	（4）生活支援を担う元気高齢者の支援ニーズ算出 .....	110
3	地域資源等の把握 .....	112
	（1）地域活動への参加状況 .....	112
	（2）住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス） .....	115
	（3）社会参加と生きがい .....	118
	（4）高齢者の公共交通機関の利用状況 .....	121

4	健康について.....	123
	（1）高齢者の健康感や幸福感.....	123
	（2）誰かとともに食事をする頻度.....	125
	<b>資料編</b> .....	<b>129</b>
1	電算処理の判定条件等 .....	129
2	アンケート調査票.....	132
	（1）介護予防・日常生活圏域高齢者ニーズ調査.....	132

# 第1章

## 調査の実施概要





## 第1章 調査の実施概要

### 1 調査の目的

「第9次秋田市高齢者プラン・第7期秋田市介護保険事業計画」の策定にあたっては、高齢者等の日常生活実態の把握と、本市における課題整理を行い、今後目指すべき地域包括ケアシステム構築のあり方とサービス基盤の方向性を検討するため、本調査を実施しました。

### 2 調査の内容

#### (1) 介護予防・日常生活圏域高齢者ニーズ調査

要介護状態になる前の高齢者に対する「要介護度の悪化につながるリスクの発生状況」及び「要介護度の悪化に影響を与える日常生活の状況」のアンケートを実施し、地域包括ケアシステム構築のための地域課題の抽出とサービス基盤の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的としています。

調査対象者	平成28年11月1日現在、秋田市に居住する65歳以上の要介護認定を受けていない方2,000人を無作為抽出	2,000人
調査方法	平成28年11月24日～12月9日、対象者へ郵送にて調査	
調査票の設計	1 あなたのご家族や生活状況について	6設問
	2 からだを動かすことについて	11設問
	3 食べることについて	10設問
	4 毎日の生活について	20設問
	5 地域での活動について	4設問
	6 たすけあいについて	8設問
	7 健康について	12設問
	8 介護保険について	3設問
	設問数合計	

※調査票は資料編に掲載しています。

### 3 電算処理および報告書の記載方法について

#### (1) 電算処理

集計処理にあたっては、回答結果から世帯状況、健康自立度別高齢者像（元気高齢者、旧一次予防事業対象者、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者）の設定条件や、運動器の機能低下リスク、口腔機能の低下リスク、低栄養の傾向リスク、閉じこもり傾向リスク、認知機能低下リスク、うつ傾向リスク等の判定条件を基に行いました。その条件内容は資料編に記載しています。

また、集計表やグラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

#### (2) 報告書の記載方法

報告書の記載にあたっては、各種テーマごとに関連する設問を集約し、分析を行っているために調査票の設問番号順の記載になっていません。グラフや表に記載しているタイトル番号は、調査票の設問番号を用いています。

また、年齢階級別での比較は対象者数が少ない年齢階級については、5歳ずつの年齢階級で記載していない場合があります。

### 4 調査票の配布と回答状況について

#### (1) 有効回答者数と回答率

本調査の回答状況は以下のとおりです。

表 1.1 介護予防・日常生活圏域高齢者ニーズ調査の回答状況

圏域名	調査対象者数 (人)	調査票の 配布数(人)	有効回答者数 (人)	有効回答率 (%)	回収数 (人)	回収率 (%)
市全域	77,299	2,000	1,454	72.7	1,469	73.5
中央圏域	17,459	400	284	71.0		
東圏域	17,097	400	299	74.8		
西圏域	9,076	400	286	71.5		
南圏域	13,150	400	290	72.5		
北圏域	20,517	400	295	73.8		

(注) 有効回答者数と回収数の差15人は、白紙回答など。

(2) 有効回答者の属性

本調査における有効回答者の属性は以下のとおりです。

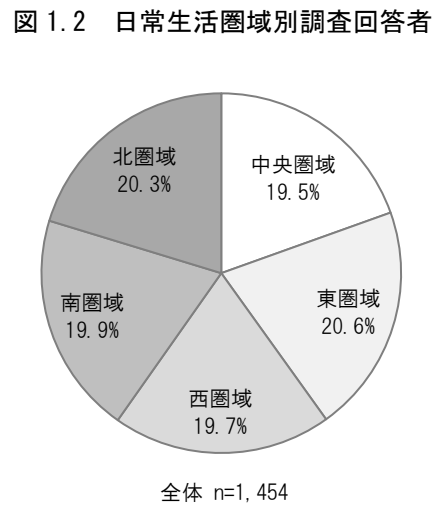
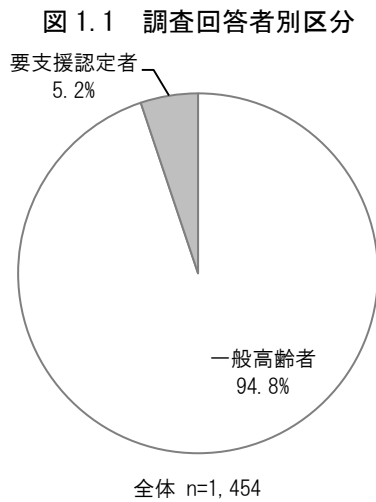


図 1.3 日常生活圏域別調査回答者

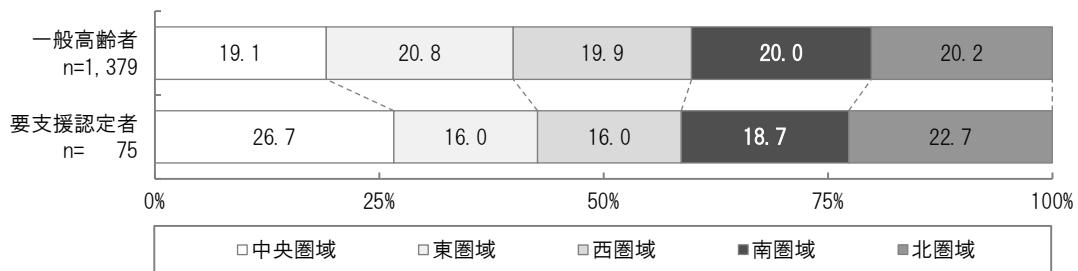


表 1.2 市全域の調査対象者別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
一般高齢者	1,379	214	153	137	90	36	8	247	156	168	112	50	8
	100.0	15.5	11.1	9.9	6.5	2.6	0.6	17.9	11.3	12.2	8.1	3.6	0.6
要支援認定者	75	1	1	6	8	4	5	0	5	13	10	17	5
	100.0	1.3	1.3	8.0	10.7	5.3	6.7	0.0	6.7	17.3	13.3	22.7	6.7

表 1.3 「中央圏域」の調査対象者別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
一般高齢者	264	28	27	27	25	7	2	49	33	34	21	10	1
	100.0	10.6	10.2	10.2	9.5	2.7	0.8	18.6	12.5	12.9	8.0	3.8	0.4
要支援認定者	20	1	0	2	1	0	1	0	2	5	1	7	0
	100.0	5.0	0.0	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	10.0	25.0	5.0	35.0	0.0

表 1.4 「東圏域」の調査対象者別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	287	39	37	30	15	6	1	53	32	30	27	16	1
	100.0	13.6	12.9	10.5	5.2	2.1	0.3	18.5	11.1	10.5	9.4	5.6	0.3
要支援認定者	12	0	0	1	1	2	0	0	1	2	1	3	1
	100.0	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	8.3	16.7	8.3	25.0	8.3

表 1.5 「西圏域」の調査対象者別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	274	46	29	24	14	8	2	49	32	39	20	9	2
	100.0	16.8	10.6	8.8	5.1	2.9	0.7	17.9	11.7	14.2	7.3	3.3	0.7
要支援認定者	12	0	1	1	2	0	1	0	1	2	2	2	0
	100.0	0.0	8.3	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	16.7	16.7	16.7	0.0

表 1.6 「南圏域」の調査対象者別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	276	55	30	30	21	7	2	52	29	28	16	4	2
	100.0	19.9	10.9	10.9	7.6	2.5	0.7	18.8	10.5	10.1	5.8	1.4	0.7
要支援認定者	14	0	0	0	2	0	1	0	0	3	2	3	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	21.4	14.3	21.4	21.4

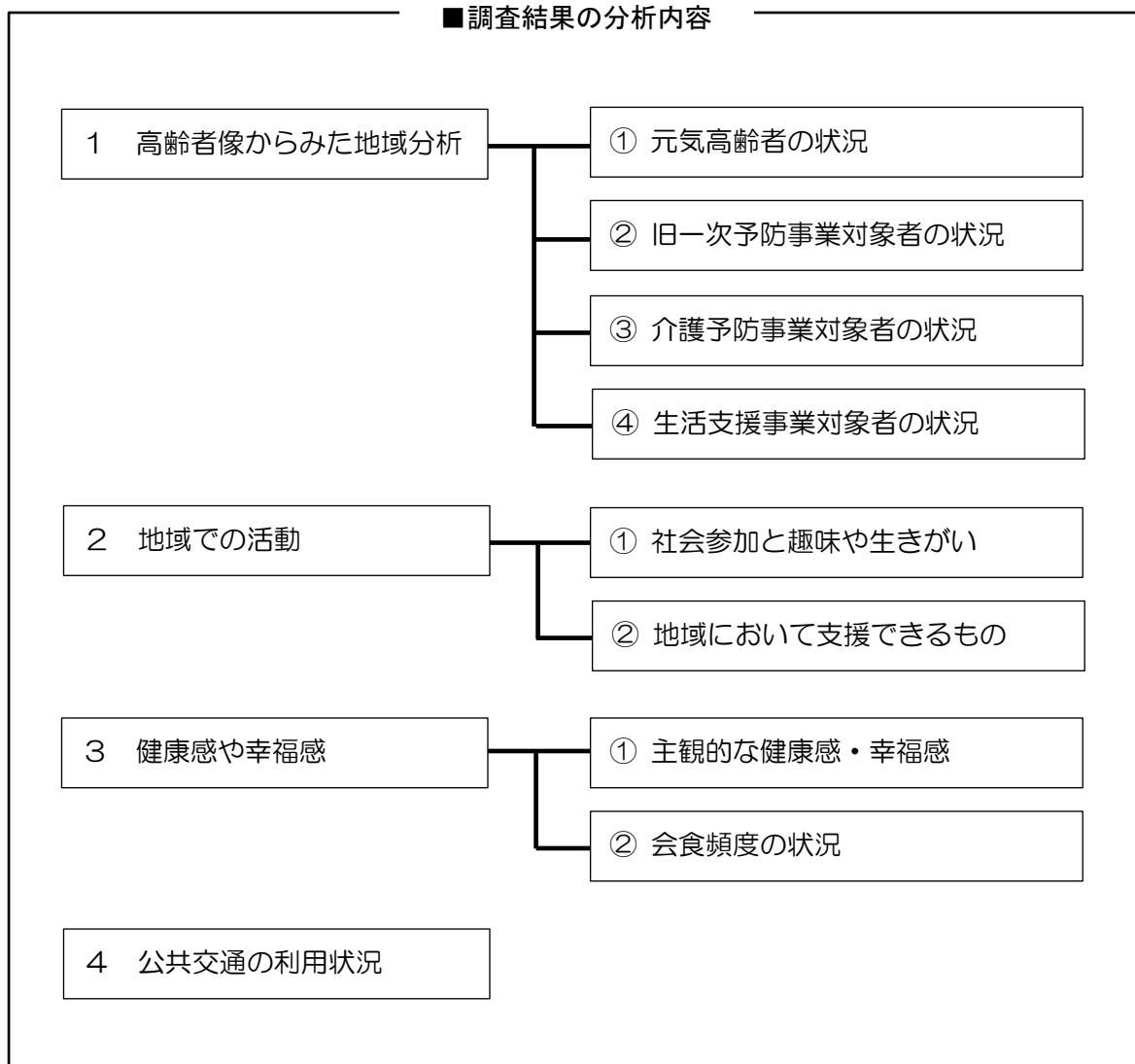
表 1.7 「北圏域」の調査対象者別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	278	46	30	26	15	8	1	44	30	37	28	11	2
	100.0	16.5	10.8	9.4	5.4	2.9	0.4	15.8	10.8	13.3	10.1	4.0	0.7
要支援認定者	17	0	0	2	2	2	2	0	1	1	4	2	1
	100.0	0.0	0.0	11.8	11.8	11.8	11.8	0.0	5.9	5.9	23.5	11.8	5.9

## 5 地域課題のまとめ

本市の地域課題の抽出にあたっては、要介護認定者を除く一般高齢者と要支援認定者の方々の調査結果から市平均値等を算出し、5つの圏域の調査結果と比較しながら少しでもマイナスとなる数値等の分析項目を抽出し、市平均値との差異を記載しています。

それぞれの分析項目に対しては、各圏域が市平均値までに改善またはそれ以上に改善ができるための施策を検討できる調査報告書として作成しました。



## (1) 「中央圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○要支援者の出現率が市平均値より3.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より0.4・10.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「口腔機能の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より9.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より2.5・0.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が市平均値より5.2・5.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で地域づくりに対して参加意向割合が市平均値より2.1 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で地域づくりに対して世話役としての意向割合が市平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「学習・教育サークル」への参加者がいない。 ○一般高齢者と要支援者ともに「老人クラブ」への参加率が市平均値より0.3・4.3 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より0.9 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人がいない」方が市平均幸福度より0.5点低い。 ○要支援者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人がいない」方が市平均幸福度より0.7点低い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「調理」「ゴミ出し」に関する支援割合は市平均値より各2.0 <sup>ポイント</sup> 低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○要支援者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.6点低い。
	会食の頻度	○特に課題等は見当たりません。
公共交通の利用状況		○特に課題等は見当たりません。

## (2) 「東圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より0.6 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○1人当たりの元気高齢者が担う際の生活支援事業対象者数は、市平均人数より2.8人多い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より2.7低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より3.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が平均値より15.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「口腔機能の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より4.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より1.4・7.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より3.5 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○要支援者で出現率が市平均値より14.0 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で地域づくりに対して参加意向割合が市平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より2.8 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者と要支援者ともに「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より1.6・3.7 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「学習・教育サークル」への参加者がいない。 ○一般高齢者で「老人クラブ」への参加率が市平均値より1.2 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より2.2 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 低い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「ゴミ出し」に関する支援割合は市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より1.1 <sup>ポイント</sup> 高い。
	会食の頻度	○一般高齢者と要支援者ともに「だれかと一緒に食事することがほとんどない方」の割合は市平均値より0.3・6.3 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○一般高齢者と要支援者ともに公共交通利用率が市平均値より4.8・9.7 <sup>ポイント</sup> 低い。

## (3) 「西圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より0.8 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○1人当たりの元気高齢者が担う際の生活支援事業対象者数は、市平均人数より2.5人多い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者で「口腔機能の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より1.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より1.6 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○要支援者で出現率が市平均値より14.0 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で地域づくりに対して参加意向割合が市平均値より1.8 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で地域づくりに対して世話役としての意向割合が市平均値より2.6 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より3.7 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「老人クラブ」への参加率が市平均値より0.4・1.0 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より0.2 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より1.5 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人がいない」方は市平均幸福度より0.1点低い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「掃除・洗濯」「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」「サロンなど、通いの場のサポート」「外出時の送迎」に関する支援割合は市平均値より0.7・4.5・0.9・2.8・2.3・1.8・1.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より2.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.1点低い。
	会食の頻度	○一般高齢者と要支援者ともに「だれかと一緒に食事することがほとんどない方」の割合は市平均値より0.2・6.3 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○特に課題等は見当たりません。



## (4) 「南圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より2.7 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が市平均値より1.7・8.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より32.9 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.2・11.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「口腔機能の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より19.8 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.3・6.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より7.8 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より3.0・8.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者と要支援者ともに「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より0.1・3.6 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より0.5・4.9 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「学習・教育サークル」への参加率が市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○要支援者で「老人クラブ」への参加率が市平均値より2.2 <sup>ポイント</sup> 低い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「配食の手伝い」「掃除・洗濯」「外出代行（通院・散歩など）」に関する支援割合は市平均値より1.7・0.8・0.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○要支援者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.2点低い。
	会食の頻度	○一般高齢者で「だれかと一緒に食事することがほとんどない方」の割合は市平均値より2.0 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○一般高齢者と要支援者ともに公共交通利用率が市平均値より7.2・27.6 <sup>ポイント</sup> 低い。

## (5) 「北圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より0.2 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○1人当たりの元気高齢者が担う際の生活支援事業対象者数は、市平均人数より0.1人多い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護予防事業 対象者の状況	○要支援者の出現率が市平均値より2.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より2.5 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より2.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より9.5 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より3.0・2.0 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より0.8 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より2.8・4.8 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「学習・教育サークル」への参加率が市平均値より1.8 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人がいない」方は市平均幸福度より0.2点低い。 ○一般高齢者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人がいない」方が市平均幸福度より0.3点低い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民が行う「配食の手伝い」「調理」「掃除・洗濯」「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」「見守り、声かけ」「サロンなど、通いの場のサポート」「外出時の送迎」に関する支援割合は市平均値より4.0・0.3・2.0・1.1・0.8・3.6・2.6・1.1 <sup>ポイント</sup> 低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より1.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.2点低い。
	会食の頻度	○要支援者で「だれかと一緒に食事することがほとんどない方」の割合は市平均値より10.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○一般高齢者で公共交通利用率が市平均値より2.7 <sup>ポイント</sup> 低い。